

グループ
理念

経営理念

- ▶ 京急グループは、都市生活を支える事業を通して、新しい価値を創造し、社会の発展に貢献する
- ▶ 京急グループは、伝統のもとに、創意あふれる清新な気風をもって、総合力を発揮し、社業の躍進をめざす
- ▶ 京急グループは、グループの繁栄と全員の幸福との一致を追求する

行動指針

- ▶ 安全・安心を最優先し、感謝と誠意をもって、顧客の信頼を獲得しよう
- ▶ たえず研鑽し、進取の精神をもって、可能性に挑戦しよう
- ▶ 誇りと責任をもち、相互の信頼を深め、仕事に取り組もう

京急グループは、グループ理念のもとで、「社会の持続的発展への貢献」と「京急グループの持続的発展」のよりよい循環を目指します。

サステナビリティ
基本方針

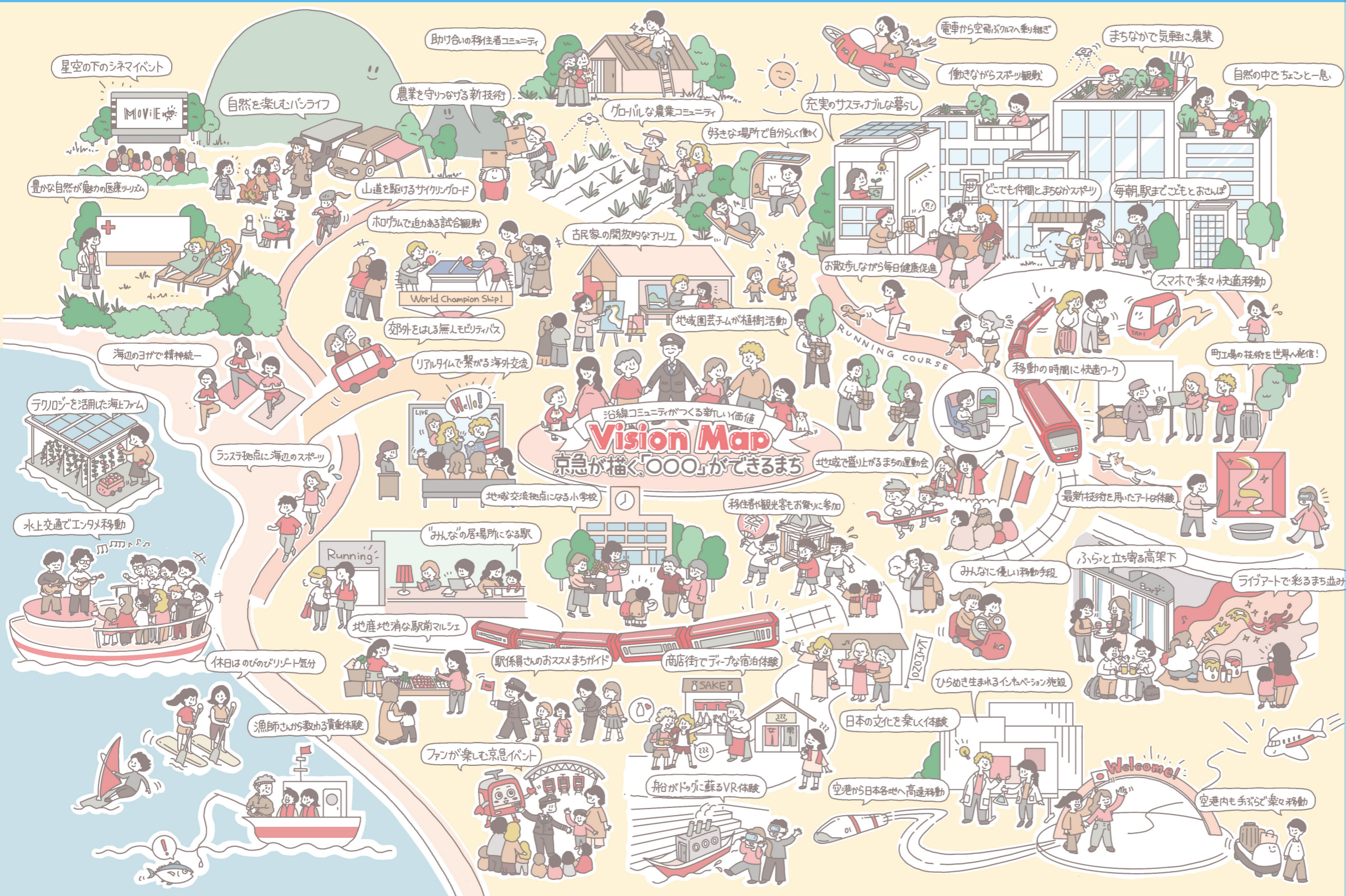
テーマ

- ▶ 人・社会・地球にやさしく持続可能な都市生活を創造します。
- ▶ 多様な人財が活躍する企業を実現します。
- ▶ 全ステークホルダーと適切な協働を図り、コーポレートガバナンスの持続的な強化を図ります。

思い描く未来に向けて 沿線とともに持続的な発展を実現します

みんなで描く、京急 Vision Map

京急電鉄では、京急グループ第20次総合経営計画にて、長期ビジョン「『移動』と『まち創造』」2つのプラットフォームが織りなす相互価値共創のスパイラルアップにより持続的に発展する沿線を実現する」を掲げ、2024年5月に「沿線価値共創戦略」を策定しました。この長期ビジョンの実現に向けて、目指す沿線の姿を具現化し、グループ全社員が共通のイメージを持ちながら事業活動を推進できるよう、2024年度に「京急Vision Map」を策定しました。



「これも京急!？」
を、
もっと。

インナースローガンのロゴ

「お客さま視点」「共創」を実現する具体的な事例については、こちらをご参照ください。
<https://koremo.keiyo.co.jp>

- 地域コミュニティ活動に参加できるまち
- 誰でも健康的なライフスタイルが実現できるまち
- ストレスのない多様な移動ができるまち
- 自然に囲まれたスローライフが実現できるまち
- 自分らしい過ごし方・働き方を実現できるまち
- 歴史や文化を大切にすシビックプライドが高いまち
- イノベーションが生まれ先端技術を体験できるまち
- 拠点駅を中心に住働楽等が揃うまち

CONTENTS

FOCUS
01

P.29~P.34 経営計画実現に向けた主要施策

2025年5月に一部内容をアップデートした第20次総合経営計画について、計画を着実に実行していくための重点施策とその取り組み状況についてご説明します。

FOCUS
02

P.35~P.38 ステークホルダー座談会

当社社員と、エリアマネジメント活動を協働で推進する「newcalファミリー」による座談会を開催し、「newcalプロジェクト」の将来像やステークホルダーが当社グループに期待することなどについて話を聞きました。

FOCUS
03

P.53~P.57 社外取締役×女性管理職座談会

社外取締役3名と課長職の女性3名による座談会を開催し、当社グループの女性活躍推進に向けた取り組み状況や今後の課題などについて意見交換を行いました。

01 プロローグ

- 01 理念
- 03 みんなで描く、京急 Vision Map
- 05 目次・編集方針

持続的に発展する豊かな沿線の実現に向けた、すべての事業活動の根幹である当社グループの理念を掲載しています。また、2040年度に目指す将来像である長期ビジョンの実現に向けて、当社グループが描く将来の沿線の姿を具現化し、そのイメージをグループ全社員で共有することを目的に策定した「京急 Vision Map」を紹介しています。

02 京急グループの価値創造

- 07 社長メッセージ
- 13 歴史とともに培ってきた強み
- 15 京急グループの強み
- 17 価値創造モデル
- 19 サステナビリティ経営
- 21 サステナビリティ重要課題と非財務KPI

第20次総合経営計画のアップデート内容も踏まえ、長期ビジョンの実現に向けた当社取締役社長のコミットメントを掲載しています。また、企業価値の最大化に向けた当社グループのサステナビリティ経営における考え方や推進体制、2024年度に改定した非財務KPIの進捗状況などについてご説明します。

03 成長戦略

京急グループ総合経営計画

- 23 第20次総合経営計画の全体像とアップデート
- 25 経営戦略室長メッセージ
- 29 経営計画実現に向けた主要施策

特集

- 35 ステークホルダー座談会
newcalプロジェクトが拓く、
三浦半島の価値共創の未来

事業別概況

- 39 交通事業
- 41 不動産事業
- 43 レジャー・サービス事業
- 44 流通事業
- 45 その他の事業

第20次総合経営計画について、2025年5月にアップデートした内容を中心にご説明するとともに、着実な計画実行に向けた経営戦略室長によるコミットメントを掲載しています。また、沿線価値共創戦略の取り組みの一つとして「newcalプロジェクト」をテーマに、当社統合報告書において初となるステークホルダー座談会を開催しました。

04 サステナビリティ

- 46 環境への取り組み
- 51 安全への取り組み
- 53 社外取締役×女性管理職座談会
女性活躍推進に向けて
- 58 人財への取り組み
- 61 コーポレート・ガバナンス
- 71 リスク管理・コンプライアンス
- 73 ステークホルダーとのコミュニケーション

サステナビリティへの取り組みとして、E・S・Gの観点からそれぞれの対応方針や直近の取り組み状況をご説明するほか、ステークホルダーとのコミュニケーションに関するページを新設しました。また、人的資本経営の推進にあたり、「女性活躍推進」をテーマに社外取締役および女性管理職による座談会を実施しました。

05 財務・会社情報

- 75 連結経営指標の推移
- 77 会社概要・株式情報
- 78 グループ会社一覧

編集方針

本統合報告書は、当社グループが2040年度に目指す将来像である「長期ビジョン」の実現に向け、サステナビリティ経営を軸とした社会価値・企業価値創造への取り組みについて、株主・投資家をはじめとするステークホルダーの皆さまに広くご理解いただくことを目的として発行しています。また、本統合報告書を通じたステークホルダーの皆さまとのコミュニケーションにより、さらなる企業価値の向上につなげていきます。

報告対象期間

2024年4月1日～2025年3月31日（一部取り組みについては、それ以前のものや最新の内容も含んでいます。）

報告対象組織

京急電鉄を中心とした京急グループ46社

発行時期

2025年11月

ガイドライン

本統合報告書は、以下のフレームワークおよびガイドラインを参考にしています。

- ・IFRS財団「国際統合報告フレームワーク」
- ・経済産業省「価値協創ガイダンス」
- ・GRI「サステナビリティ・レポーティング・スタンダード」
- ・SASB「SASBスタンダード」



将来の見通しに関する注意事項

将来の見通しに関する記述は、本統合報告書作成時点（2025年11月）における当社の見解であり、将来の業績を保証するものではありません。実際の業績等は、リスクや不確実な事象によって当社の見込みとは異なる可能性があることにご留意ください。